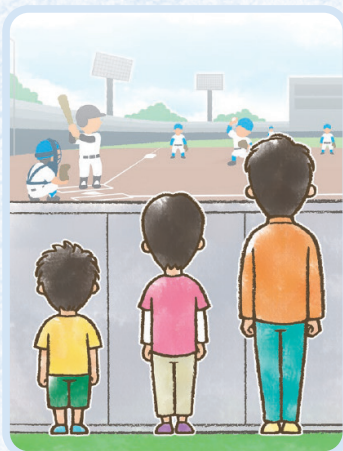


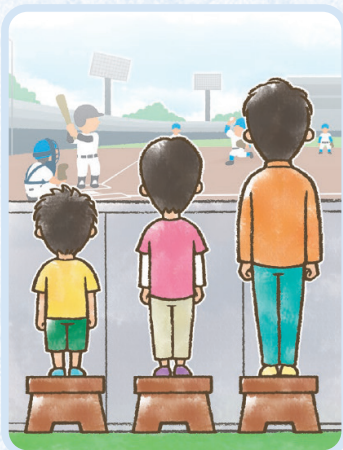
18 「ちがい」について考えよう

一人一人が幸せに、輝くことができる社会を築くためには、ちがいのよさを理解し、それぞれの個性を受け入れ合うことが大切です。

でも、どんな「ちがい」もそのままにしてよいかといえば、そうではありません。それでも「おなじ」にするのがよいかというと、やはり、そうでもないようです。さまざまな「ちがい」について考えてみましょう。



野球の応援に来た
三人の前に、背の高い
壁があります。



三人が試合を見ることが
できるように、三人に
「おなじ」台を配りました。